

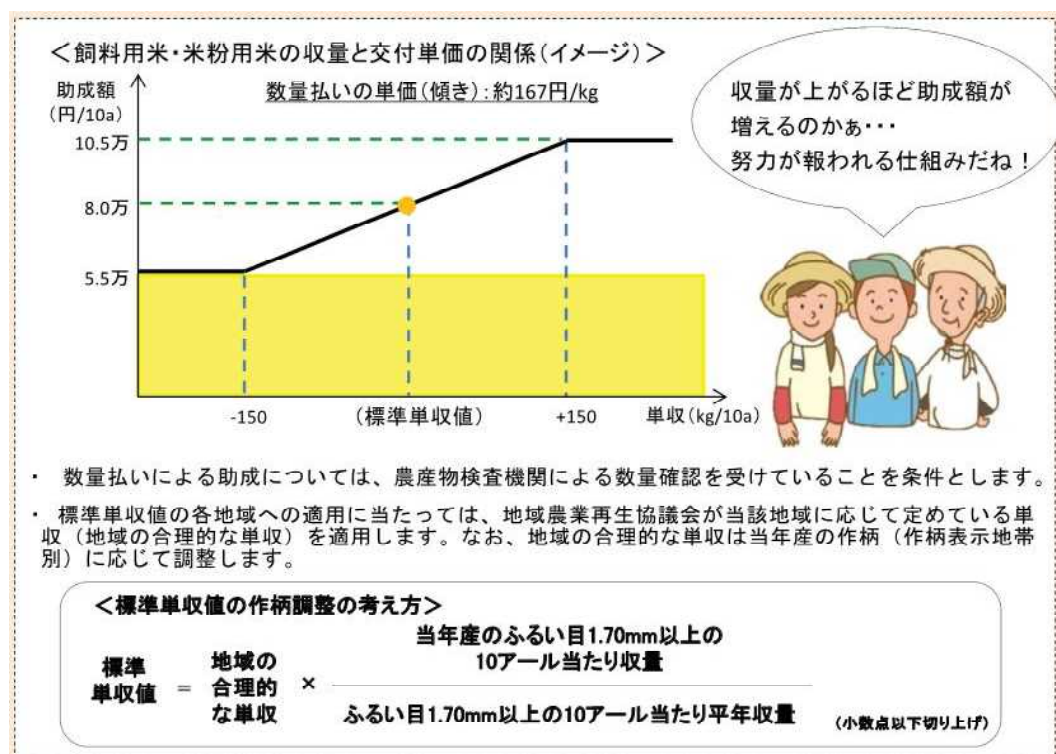
# 「飼料用米の収量を増やして所得向上を！」

平成31年3月

塩谷南那須農業振興事務所

飼料用米の交付単価は数量払いとなっており、収量が上がるほど交付額が増える仕組みとなっています（市町の標準単収+150kg/10aが上限）。

収量向上のためには、「基肥多肥と適期の穂肥施肥」が重要です。



・標準単収(kg/10a)

矢板市	544
さくら市	569
塩谷町	539
高根沢町	569
那須烏山市	548
那珂川町	548

※平成 31 年度経営所得安定対策等の概要（農林水産省）より

下記「施肥目安」を参考に、地力にあわせて加減し多収を目指しましょう。

○「施肥目安」

・目標収量: 660~720kg/10a

・作期: 早植

・品種: あさひの夢

・施肥

堆肥1t/10a程度施用

幼穂長5mm  
程度の時期

①分施肥系

基肥窒素	穂肥窒素	穂肥時期
7~8kg/10a	4kg/10a	出穂前20~23日

②全量基肥

肥料の種類	成分% N-P-K	施用量 (kg/10a)
BBファイト066	30-6-6	30~35

※生育量が不足する場合は穂肥(N:2~3kg/10a)の実施

・品種: 月の光

・施肥(極端な多肥は控える)

堆肥1t/10a程度施用

幼穂長5mm  
程度の時期

①分施肥系

基肥窒素	穂肥窒素	穂肥時期
6~7kg/10a	4kg/10a	出穂前20~23日

②全量基肥

肥料の種類	成分% N-P-K	施用量 (kg/10a)
BBファイト066	30-6-6	25~30

※生育量が不足する場合は穂肥(N:2~3kg/10a)の実施

※大豆跡は上記の5~7割とします。